

図書館だより

開館時間（共通）9：00～17：30

☎ 中央図書館 ☎ 0558-76-5566

☎ 葦山図書館 ☎ 055-949-8605

URL http://www.izunokuni.library-town.com/



今月のおすすめ

一般

【中央】



源氏の白旗
- 落人たちの戦 -
竹内涼／著
実業之日本社

「最後の戦い、してみせん」源義朝、義仲、義経ら源氏の武将と常盤御前、静御前など共に戦う女性。敗れざる魂を描く、慟哭の源平合戦小説。

一般

【葦山】



楽園のアダム
周木律／著
講談社

大厄災により人類は1%未満に減少。人々は残されたわずかな土地で人工知能に生活を制御されて平和に暮らしていた。そこは殺人などとは無縁の世界、のはずだった…。

一般

【中央】

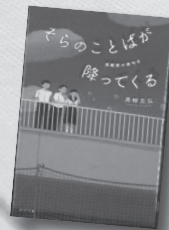


三十の反撃
ソソ・ウオンピョン／著
祥伝社

30歳、平凡な非正規社員のキム・ジヘ。同僚ギョウクの提案する社会への小さな反撃を始める。自身を見つめ直し自分らしい生き方を模索し、ついに新たな一歩を踏み出す。

児童

【葦山】



そらのことばが降ってくる
- 保健室の俳句会 -
高柳克弘／作
ポプラ社

保健室登校のソラは同級生のハセオに巻き込まれ、俳句会に参加することに。傷ついた自分の心と向き合ったソラの句は？浜松出身、気鋭の俳人が描く中学生と俳句の物語。

新着本コーナーから

一般

コロナ狂騒録

海道尊／著【葦山】

一般

地中の星

門井慶喜／著【葦山】

一般

アフター・サイレンス

本多孝好／著【中央】

一般

ゴースト・ポリス・ストーリー

横関大／著【葦山】

一般

オーラの発表会

綿矢りさ／著【中央】

児童

地球以外に生命を宿す天体はあるのだろうか？

佐々木貴教／著【中央】

11月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	③	④	5	6
7	⑧	9	⑩	11	12	⑪
14	⑮	16	⑰	⑱	19	20
21	⑳	23	㉒	25	㉓	㉔
28	㉙	30				

○中央休館日 □葦山休館日
◇両館休館日 ☆おはなし会

11月のおはなし会

中央図書館 13日(土) 11:00～
葦山図書館 13日(土) 14:00～
27日(土) 14:00～
※事前申し込み不要

くぬぎ会館こども広場
18日(木) 10:10～
※予約制 ☎ 0558-76-1346

お知らせ

としょかんクイズ再び

夏休みととしょかんクイズ第4弾が緊急事態宣言により中止となりましたので、今年度は特別に12月の土日にとしょかんクイズを実施します。

とき／12月4日(土)、5日(日)、
11日(土)、12日(日)、18
日(土)、19日(日)、25日(土)、
26日(日)

出題は1回のみです。中止になった夏休みの第4弾とは別の問題を出題します。
正解者にはメダルをプレゼントします。
ぜひ挑戦してください！

文化財通信

その197

伊豆の国市からはじまる北条義時の足跡

第11回 北条義時をめぐる人々と伊豆の国市

〔天野遠景ほか伊豆の武士たち〕

☎ 文化財課 ☎ 055-948-1428



天野遠景の墓
中央が遠景、左は政景、右は平内光家
(右の石塔は最近再建されたもの)

北条義時をめぐる人々、今回は長岡地区天野出身の天野遠景を中心に、伊豆の国市の鎌倉武士たちを取り上げます。
天野遠景は、治承4年(1180)8月の挙兵当初から源頼朝に従い、石橋山の合戦、富士川の合戦で、義時とともに戦いました。「吾妻鏡」には、挙兵に従った天野氏として、遠景のほか「天野六郎政景」、「天野平内光家」の名前があります。一族結束して頼朝に従ったのでしよう。その後、遠景は平氏との合戦で源頼朝軍に属し、中国・九州地方で戦い、平氏を滅ぼした後は、頼朝の命により10年ほど九州の御家人を統括する役職(後の鎮西奉行)を務めました。

また、平氏の残党を追って、さらに南の鬼界ヶ島(鹿児島薩南諸島の硫黄島)まで進軍したとも言われています。
大門橋の西側、狩野川を見下ろす小高い丘に「天野遠景の墓」という3基の石塔が建っています。この場所は「薬師の段」と呼ばれ、かつて遠景が薬師如来像を安置した薬師堂があったと言われています。後に薬師堂は天野にある東昌寺に移っています。東昌寺には、江戸時代末の安政3年(1856)に天野氏の子孫が安置した遠景・政景・光家の位牌が祀られています。
残念ながら、天野氏の館の場所はわかっていませんが、天野周辺の小字「屋敷台」、「馬場窪」などが館のなごりかもしれません。
頼朝挙兵時の「吾妻鏡」の記事には、天野氏の他に、「那古谷橋次頼時」(葦山地区奈古谷)、「近藤七国平」(葦山地区長崎)が見えます。また、山木兼隆とともに討ちとられた「堤権守信遠」は、進軍ルートからみて葦山地区多田に館があったと推定できます。(広報3月号文化財通信参照)

また、承久の乱で先発した北条泰時(ともに京都に向かった「南条時員」は、葦山地区南条出身の武士です。南条氏は、後に北条氏の御内人(※)となります。御内人として有名なのは、鎌倉時代末期に権力を握った「長崎円喜」や「長崎高資」ですが、長崎氏の出身地も葦山地区長崎です。長岡地区江間には、義時の名乗った江間小四郎とは別に江間(江馬)氏がいたようです。
隣の函南町では仁田を本拠とした仁田忠常が有名です。伊豆市には伊豆介を名乗る狩野氏や、山本攻めで兼隆を討ちとった加藤景廉の館があったと言われています。
伊豆は鎌倉時代に活躍した武士を多く輩出した地域です。それは頼朝の挙兵の地であったことと、後に北条氏が執権として権力をもちたことに関係しています。また、鎌倉に近いという地理的な要因もあったかもしれません。
皆さんの住む地区には、鎌倉時代に活躍した武士がいたでしょうか。
※北条本家(得宗家)直属の家人のこと